第2特集

中長期的な企業価値向上への取組みを後押し

CGコード改訂の実務ポイント

当局解説

自社のあるべきガバナンスの探求と実践へ

コーポレートガバナンス・コード改訂版の解説

実務解説①

経営資源の配分が適切か不断の検証を

CGコード改訂に伴う成長投資を実現する取締役会

実務解説②

コーポレートセクレタリーの機能強化等

CGコード改訂に伴う取締役会の機能強化

実務解説③

総会運営全体の日程を見直す契機に

CGコード改訂に伴う有報の総会前開示への対応

2026年7月21日、金融庁および東京証券取引所から、「コーポレートガバナンス・コード（2026年改訂版）」が公表された。今回の改訂では、企業が中長期的な価値向上に向けた本質的な取組みに注力できるよう後押しする観点から、成長投資の促進、取締役会の機能強化、有報の定時株主総会前の開示等についての留意事項が盛り込まれている。

そこで、本特集では、金融庁担当者による本改訂の概要ならびに、本改訂における実務上の留意点について解説していただいた。今後のコーポレート・ガバナンスの見直しの参考になれば幸いである。